

まちづくり達成状況報告（総括シート）

① 総合計画上の位置付け

施策の大綱	Ⅲ 学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	1. 学校教育を充実し、次世代を育てる 2. 生涯を通じた学習活動を促進する



② 施策と関連部署

施策	内容（関連シート No.）	関連部署
学校教育	- 教育内容の充実（No.37） - 部活動の地域移行の推進（No.38） - 教育環境の充実（No.39・40・41・42） - 小中学校の適正配置の推進（No.43） - 安全・安心な公立幼稚園の運営（No.44） - 学校給食の充実（No.45） - 特色ある教育の推進（No.46）	指導課、生涯学習課、学校教育課、学校給食センター
青少年健全育成	- 青少年健全育成の推進（No.47） - 社会参加の推進（No.48）	生涯学習課
生涯学習	- 生涯学習環境の充実（No.49） - 社会教育施設の整備（No.50・51） - 図書館活動の推進（No.52）	生涯学習課、図書館
スポーツ振興	- スポーツ環境の充実（No.53） - スポーツ指導者・活動団体の支援（No.54） - スポーツ活動の促進（No.55）	生涯学習課
地域文化	- 地域文化の継承（No.56） - 地域文化の活用（No.57） - 郷土愛の醸成（No.58）	生涯学習課

③ 主要成果指標

（※概要欄 / ・：取組 →：方向性）

① 学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合（No.37・39・40・41・43）	（概要）
2021 年度実績：80.9% 2023 年度実績：小学校：81.2% 中学校：83.5% 2027 年度目標：90.0% ICTを活用した課題解決型の学びによる「わかる授業」の展開や、オンライン授業をきっかけとした不登校の解消などにより、学校に行くことを楽しいと思う児童・生徒の増加を目指します。	- GIGA スクール構想による1人1台端末や大型モニター等の学校 ICT の活用を進めることができました。 → 「NEXT GIGA」に向けて、学習支援ツールの導入など端末の活用がより一層進むよう、児童生徒・教職員・学校を支援していきます。
② ICT を活用できる教員の割合（No.39）	（概要）
2021 年度実績：71.6% 2023 年度実績：89.6% 2027 年度目標：100.0% 近年、教育現場への ICT 導入が急速に進んだことに伴い、教員の ICT 活用指導力の向上が求められています。本市でもスキルアップの機会を充実させることで、全ての教員が授業で ICT を効果的に活用できる状態を目指します。	- ICT 活用に関する研修の実施や、GIGA スクールサポーター（支援員）を配置することで、教職員の ICT 活用を支援することができました。 → 先進事例などを共有しながら、授業等でより効果的に ICT が活用できるように教職員に対して継続して支援していきます。
③ 市が主催する生涯学習講座及びスポーツ教室の延べ参加者数（No.49・55）	（概要）
2021 年度実績：1,926 人 2023 年度実績：1,047 人 2027 年度目標：2,100 人 市民が生きがいのある暮らしや健康的な生活を送れるよう、さまざまなニーズに対応した活動機会を提供することで、生涯学習やスポーツ活動に取り組む市民の増加を目指します。	- 感染症対策の規制もなくなり、応募人数がコロナ禍前に戻りつつある一方、人数が少なく開催できなかった教室もありました。 → 多様な学びのニーズに合った講座や教室の開催に向け、利用者等の意見を聞きながら、生涯学習やスポーツ活動に取り組める環境づくりに取り組んでいきます。